

2024年度事業報告

1 児童虐待防止シンポジウム開催事業

35回を迎える今回のシンポジウムでは、「こども家庭センターをどう創っていくのか～母子保健の立場から児童福祉との一体化を考える～」と題して、基調講演と2自治体からの実践報告をいただいた。2024年度から始まったこども家庭センターの取り組みについて、保健師の立場から実践現場での工夫をお話しいただいた。オンライン・オンデマンド合わせて参加者は860名余りであり、そのほとんどが自治体職員であった。「試行錯誤の状況なのでとても役に立つ研修でした。」「最新の動向が知れて良かったです。」などの感想が寄せられ、参加者の関心にこたえることができた。

◆ 第35回シンポジウム

- テーマ : 「こども家庭センターをどう創っていくのか～母子保健の立場から児童福祉との一体化を考える～」
- 日時・会場 : 2025年2月2日(日) オンライン開催(Zoomウェビナー)
- 参加者 : 視聴参加 約590人、オンデマンド配信視聴 272回
- 内容 : 基調講演、報告および質疑応答、意見交換

2 児童虐待防止啓発活動事業

社会全体の子ども虐待防止に対する意識の向上と虐待の予防、早期発見・対応の充実を図るために、行政をはじめ、関係団体、企業等との協力を得ながら、啓発活動及びソーシャルアクションを行った。オレンジリボンの配布活動、支援団体とのイベントの共催、ポスターコンテスト、鎮魂集会の実施、学生によるオレンジリボン運動、ホームページの活用等、子ども虐待防止のためのオレンジリボン運動を幅広く実施した。

◆ 春のオレンジリボンキャンペーン

「こどもまんなか児童福祉週間(5月)」に合わせて、全国の個人サポーターや支援企業・団体に向けて、ポスター掲示やSNSでのオレンジリボン運動の広報への協力を呼びかけた。その結果、172件の協力申込みがあり、計803枚のポスターを提供し、掲出に協力いただいた。あわせて、ホームページやSNSでも「春のオレンジリボンキャンペーン」の情報を発信し、11月の虐待防止月間にとどまらず、より多くの市民に参加意識を高めてもらう取組みを行った。

- 実施時期 : 2024年4月～5月
- 内容 : オレンジリボンの着用、ポスター掲出とSNSでの告知の呼びかけ等

◆ オレンジリボンフェスタ

「子どもと子育てにやさしい社会が虐待のない社会を作る」をコンセプトとして、オレンジリボンフェスタを共催、実施した。

- テーマ : 「オレンジリボンフェスタ in くるめ」
- 日時・会場 : 2024年11月24日(日)「久留米シティプラザ／六角堂広場」(福岡県久留米市)
- 参加者 : 約1,320人
- 内容 : 福岡県久留米市を拠点とするNPO法人にじいろCAPとの共催で、「こどもがまんなか」をテーマとしたオレンジリボンフェスタを開催した。子どもたちを中心としたエリアには、体験型のブースや相談コーナーが設けられ、保護者と幼児向けのスペースでは、ボウリングや迷路などの遊び場に加え、子育てに関する座談会も実施された。本フェスタを通じて参加者同士の交流が生まれ、さまざまなNPO法人や行政機関が連携して開催することにより、今後の活動にもつながる実りあるイベントとなった。



◆ オレンジリボンポスターコンテスト

一般市民への啓発を目的に、全国から子ども虐待防止のポスターデザインを募集し、オレンジリボン運動のポスターを作成した。参加団体・企業と共にオレンジリボン運動ポスター約10,000枚を掲出した。

- 実施時期 : 募集…12月～3月、選考4月、表彰式…7月28日(東京都内)
- 内容 : 最優秀賞1名、優秀賞1名、オレンジリボンサポーター賞1名、ユース最優秀賞1名、ユース優秀賞2名、企業賞/団体賞を設定し、美術系の専門学校・大学・高校等を中心に広く応募を呼び掛けた。応募総数725作品(一般部門523点、ユース部門202点)の作品が集まり、各賞が選定され、表彰式を開催した。
- 選考したデザインよりポスター・チラシ等を作成し、関係機関等に配布・活用を通じて虐待防止の啓発につなげた。



<最優秀賞>



<優秀賞>



<オレンジリボンサポーター賞>



<ユース最優秀賞>

◆ グッズ作成・配布

今年度も11月の推進月間を中心に組織ぐるみでの啓発活動として、除菌ウェットティッシュおよび付箋ブックが特に好評で配布物として広く活用された。また、ネックストラップや布リボンバッジも推進月間を問わず、着用する取り組みが多くみられた。他のグッズでは、今治ハンカチタオルが人気で年間を通じて、オレンジリボン啓発活動に広く活用された。また、啓発ツールとして、チラシ、ポスター、啓発冊子等を作成・配布し、幅広く啓発を行った。

＜主なグッズ頒布数推移＞

グッズ	2023年度	2024年度
ピンバッジ・安全ピン型バッジ	16,276	13,180
今治ハンカチタオル	2,151	3,603
クリアファイル	3,520	2,689
ボールペン	3,310	3,362
ネックストラップ	2,358	2,126
除菌ウェットティッシュ	12,999	21,389
付箋ブック	1,579	3,430



◆ 全国一斉オレンジリボン街頭配布

児童虐待防止推進月間中に実施するイベントとして、全国各地で支援企業/団体の協力による啓発ツールの配布等、オレンジリボン運動の啓発活動を行った。

- 実施時期 : 2024年11月を中心に実施
- 内容 : 配布対象を全国の不特定の一般の方々とし、マスク24万枚、チラシ9.4万枚を配布するとともに、のぼり旗やポスター1040枚を掲出するなどして、啓発活動を行った。
- 一斉配布協力企業・団体数 : 166企業・団体



◆ 虐待で命を落とした子どもの鎮魂集会

子ども虐待によって失われた子どもの命を悼み、子ども虐待防止を啓発することを目的に鎮魂集会を開催した。同時にライブ配信も行い、来場できない全国の方々にも視聴参加していただいた。参加者一同で子どもたちへの追悼の思いを込め、子ども虐待防止について考えを深める場となった。

- 日時・会場 : 2024年11月17日(日) 銀座プロッサム中央会館・同時ライブ配信
- 参加者 : 来場者310名、オンライン参加(YouTube Live 視聴回数):410回
- 内容 : 第22回子どもの虐待死を悼み 命を讃える市民集会

- 第1部: 虐待死した子どもの名前を読み上げ、参加者全員による黙祷
- 第2部: 講演「赤ちゃんポスト、内密出産を通じて見てきた不都合な真実」
蓮田健 氏(慈恵病院理事長兼院長)
- 第3部: 子ども虐待防止を訴える「鎮魂の行進」



◆ 学生によるオレンジリボン啓発活動

こども家庭庁や関係機関の協力の下、「学生によるオレンジリボン運動」について、社会福祉士養成校など全国の大学等呼びかけ、65校の参加登録があった。登録校には啓発ツール一式をサンプルとして提供した。また、活動報告の発表の場として、報告会(以下に詳細)を5年ぶりに会場で開催した。

【報告会】

- 日時・会場 : 2025年2月22日(土) TKP浜松町南口ビジネスセンター
- 参加者 : 発表校:4校
- 内容 : 「学生によるオレンジリボン運動報告会(全国大会)」

報告会では、エントリーした学校の中から4校が代表して活動報告を行った。各校の発表後には質疑応答の時間が設けられ、活発な意見交換が行われ、参加した生徒たちの積極的な姿勢からは、学びを深めようとする若者らしさが感じられ、充実した報告会となった。また、審査員として、こども家庭庁、東京都、読売新聞社(支援企業)にご参加いただき、表彰後にはそれぞれから講評・コメントをいただいた。

【ダイジェスト動画の制作】

オレンジリボン運動に参加している各大学・専門学校より、画像を提供していただき「学生によるオレンジリボン運動2024」のダイジェスト動画を制作し、YouTubeチャンネルで公開した。*この動画は支援企業であるFWD生命保険株式会社様のサポートにより制作

<https://youtu.be/EHd4wu6h45c>



◆ オレンジリボン情報交換会

支援企業・団体を対象に、児童虐待防止に関する情報提供およびオレンジリボン運動に携わる関係者同士の交流を目的とした情報交換会をオンラインにて実施した。

- 日時 : 2024年9月6日(月) オンライン開催、オンデマンド配信
- 参加者 : 支援企業・団体 39名 オンデマンド配信 86名
- 内容 :
 - ・講演:「企業とNPOの連携・協働の意義 ～子ども・子育て支援の視点から～」
講師:独立行政法人国立女性教育会館理事長 萩原なつ子氏
 - ・民間セクターによる虐待予防活動 (児童虐待防止全国ネットワーク)
 - ・オレンジリボン運動 昨年度の活動報告
支援団体:一般社団法人ほしかぜ/Ibuki Music Associates
支援企業:FWD生命保険株式会社
 - ・各グループに分かれ情報交換・交流 (Zoomブレイクセッション)オンラインで開催することで、全国からの支援企業・団体が参加しやすく、相互理解やつながりを深める貴重な機会となった。オレンジリボン運動の活動の意義や関係者同士の連携に対する意識が深まり、有意義な場となった。



◆ 子ども虐待防止のための市民ミーティング

主に個人サポーターに参加を呼びかけ、市民目線で子ども虐待防止のために私たち一人ひとりに何ができるか、グループディスカッションを行い、参加者同士で意見を交換し、考える場とした。

- 日時 : 2024年9月27日(金)、28日(土) オンライン開催
2024年12月14日(土) 会場開催:銀座ユニーク(東京都中央区)
- 参加者 : 個人サポーター他 延べ36人
- 内容 :
 - ・オレンジリボン運動の活動内容の紹介、児童虐待の実態、定義や背景・要因、そして「こども家庭庁」や「こども家庭センター」の設置とサポートプランに関する情報を参加者に説明した。
 - ・その後、グループに分かれ、「虐待の事件をとおして思うこと」「自分にできること、私たちにできること」についてディスカッションし、それぞれの想いを言葉にもらった。



3 目的を同じくする団体との連携事業

◆ イベント等共催事業

子ども虐待防止活動を全国に広げるため、各地の支援団体が実施するイベントに対し、企画・広報等の支援および開催費用の一部を負担する共催事業を実施した。全国の支援団体に協力を募り、15団体が選出され、オレンジリボン啓発イベントを開催した。

- 実施時期 : 2024年度中
- 内容 : 各団体が主催するイベント内でオレンジリボン運動の啓発活動を展開し、一般市民の方々がイベントに参加することで、子ども虐待防止のメッセージを理解する機会となった。

支援団体名	イベント内容
ハーレーサンタCLUB	Xmas トイラン
一般社団法人ホワイトキャンパス	このゆびとまれ in 須賀川ーオレンジでつなぐ 笑顔の輪ー
スマイルリターン	オレンジリボンビッグフェス2024
交流ぶらすかい	子育てサロン市&ライブinあげお他
一般社団法人 ANDMAMACO	北区&仙台オレンジリボン & MAMACO フェスタ
星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブ	星槎箱根フェスティバルへの出展
児童家庭支援センターシャローム	日高市市民まつり内でのブース出展他
宝塚市民生委員・児童委員連合会	こどもまんなかフェスタ
オレンジゴスペル	オレンジゴスペルコンサート2024
特定非営利活動法人 和歌山子どもの虐待防止協会	オレンジリボンフェスタ2024
一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク	オレンジリボン・シールラリーで繋がろう！！
沖縄の子どもと家族・支援者の未来を明るくする会 (OCFS)	オレンジリボンたすきリレー沖縄2024
Ibuki Music Associates	信州オレンジリボンフェス「ファミリア」
わかば子ども食堂	子ども虐待防止オレンジリボン「みんなでもちつき」
一般社団法人あだち子ども支援ネット	コネクトリンクLab&勉強会シンポジウム



◆ オレンジリボンフェスタ地域連携推進事業

子ども虐待防止につながる子育て支援の取り組みを地域社会へ広く発信するため、地域連携の推進を図り、継続的にオレンジリボンフェスタ(フォーラム)を実施していくことを目的とした団体(開催実績を有する)を対象に開催費用の一部を支援する地域連携事業を実施した。

- 実施時期 : 2024年度中
- 内容 : 各団体が地域でネットワークを作って開催し、イベント内でオレンジリボン運動の啓発や子育て支援情報の提供の他、さまざまな楽しいステージやブースを出展し、参加した一般市民の方々に安心して楽しく子育てができるよう、助け合える地域づくりを共有する場となった。

支援団体名	イベント内容
みしま子育てネット	オレンジリボンフェスタ2024inOsaka#こいばらき
オレンジリボンフェスタinあまがさき実行委員会	オレンジリボンフェスタ2024inあまがさき ~出会って、笑って、つながって~
CFRびわこ	オレンジリボンフェスタinしが~みんなおいでよ いっしょに遊ぼう! ~
オレンジリボンフェスタ 2024 in やまがた@ひがしね実行委員会	オレンジリボンフェスタ2024 in やまがた@ひがしね~こどもどもんなか



◆ 日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)との連携

2024年11月30日~12月1日に開催された「第30回学術集会かがわ大会」で、資料配布用のオレンジリボン不織布バッグを提供し協力した。

4 その他

◆ 事務所移転について

2024年7月22日付で事務所を下記住所へ移転。

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-50-15 ル・ポー松原2F

